

電照ギク新品種「雪姫」および「秋華」の育成

花き部

1 背景、目的

電照ギクは、本県の主要な花き品目として八女地域を中心に県内各地で栽培されています。主たる品種は、白色系では「神馬」、黄色系では「精興の秋」ですが、「神馬」は側枝数が多いことから芽摘み労力が多くかかり、冬期の3～4月出し栽培では開花が遅れます。また「精興の秋」は電照を打ち切ってから開花するまでの期間が長く、葉の斑点症などが発生して品質が低下します。

そこで、花形、草姿が優れ、側枝数が少なく、早生性の品種を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 平成14年に本場保有の白色系及び黄色系秋ギク系統群1,100株を集団栽培し、集団内で交配を行い約10,000粒の種子を得ました。15年度に、得られた実生株の中から花容・草姿の優れる系統の1次選抜を行い、16年度に電照抑制12月出し栽培で特に有望な系統を選抜しました。
- 2) 白色の「雪姫」は、収穫日は「神馬」とほぼ等しく、側枝数が少なく省力的な品種です。葉は立ち葉、花弁は平弁で抱え咲きで、花径が大きいのが特徴です。
- 3) 黄色の「秋華」は、収穫日が「精興の秋」より約10日早く、花茎の伸長が優れます。花弁は平弁で、濃黄色であり、花径は「精興の秋」と同程度です。

3 主要なデータなど

「雪姫」



「秋華」



表 1. 「雪姫」の特性

品種	収穫日 月/日	開花日 月/日	切り花長 cm	葉数	側枝数	重量 g	花径 cm	小花数	
								舌状花	筒状花
雪姫	11/27	12/5	96.8	48.8	21.2	94.8	12.9	161	128
神馬	11/27	12/3	107.3	50.1	36.6	102.6	12.5	167	80

注) 9月 2日定植、10月14日消灯

表 2. 「秋華」の特性

品種	収穫日 月/日	開花日 月/日	切り花長 cm	葉数	側枝数	重量 g	花径 cm	小花数	
								舌状花	筒状花
秋華	11/29	12/5	112.7	40.7	22.8	88.3	11.8	170	62
精興の秋	12/8	12/16	85.5	36.7	14.5	75.6	12	160	142

注) 9月 2日定植、10月14日消灯

